

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
キッズサポートcolorful.		令和8年 2月 19日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		静的・動的活動で分け使用を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		活動内容や子どもたちの内容に合わせた職員配置を行っております。また、緊急時にも対応できるよう過剰人員も確保しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		分かりやすい環境づくりを心掛けています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日消毒、換気、清掃を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		体調不良や気持ちの切り替え等状況に合わせて対応できる環境を整えております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の活動後に振り返りを行い、計画が子どもたちの現状に合致しているか検討する時間も設けております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートの結果をもとに早急に改善できるところについては可能な限り迅速に対応させていただいております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の支援後の振り返りに併せてミーティングを開き、職員間で業務についても共有・意見交換を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的に外部から言語聴覚士の方をお呼びして、支援内容の評価・意見交換を行っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		前もって年間スケジュールを立て、定期的に研修の実施を行っております。	職員がその時に学びたい内容を学ぶことができる環境を作ってまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成し、HPへのアップもさせていただいています。また、掲載した際には公式ラインを通じて保護者の方にもその旨をお伝えさせていただいております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		事業所での話し合いを定期的に行っている	今後は、モニタリング以外でも保護者の方とお話をできる機会を設定しより関係を築くことができる環境を整えてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の振り返りや職員ミーティングの中で見直しを行っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		事業所内での話し合いの中で、計画の内容の確認を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所独自の測定を作成し、その中で、子どもたちの今を把握できるように努めております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		事業所内の話し合いや保護者の方との面談を通して情報をまとめ、子どもたち1人1人の今にあった支援内容を設定する等に心がけております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で相談をしながら、担当者が中心となって立案を行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		週単位で課題を設定しているが、利用児童ごとにねらいや内容を変え、固定化されないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		保護者の方とお子様の成長や様子を一緒に確認・共有していき、その中で、新たな課題を設定し、計画の作成を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の担当リーダーが活動前に他職員へ内容や役割を伝える場を設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		カメラを使い活動の振り返りを行っていきながら、改善点の洗い出しや、子どもたちの様子の情報の共有を行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		リタリコにて記録を残している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、お子様の現状に沿った計画の策定を行っています。	今後は、モニタリング以外でも保護者の方とお話をできる機会を設定しより関係を築くことができる環境を整えてまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		可能な限り担当者が参加するようにしております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力病院等も設定させていただいている。また、学校や保育園とも連携できる形作りを行っております。	
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併用利用や移行がよりスムーズにいくよう事業所間の情報共有、保護者の方、また相談支援事業所さんにも聞き取りを行っております。	連携関係の差が事業所さんによってはあるので、引き続き関係強化に努めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		担当者会議等を通して情報の共有を行ってまいりました。	事業所からの発信・連携のお声掛けを行っていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		研修会等のお誘いがあったが、参加が難しい部分もあった。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			引き続き、日頃の様子をより分かりやすいような体制はないか職員間で話し合いより良い形を作ってまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		事業所説明会や保護者参加イベントの設定を行い、その中で、保護者の方の交流を促す取り組みをさせていただきました。	保護者の方を集める機会を設けることはできているので、その中に、研修的な内容も今後入れて参ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に確認を取りながら、説明を行っている。	引き続き説明を行っていきながら、保護者の方がより分かりやすい内容はないか考えてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングや日々の関わりの中でお子様や保護者の方のニーズを引き出せるように意識し、確認を行いながら、計画の策定を行う。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画策定の際には、保護者様に計画内容の確認を行い、同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリングや保護者の方の希望があれば都度面談の機会を設けさせていただいている。	より保護者の方と関係を築くことのできる環境を整えてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年間で保護者説明会や親子での参加イベントの設定している。引き続き、保護者の方や兄弟の方にも参加していただける内容のイベントを計画していきたい。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		お問い合わせやご意見に対して、可能な限り迅速に対応し、職員間でも情報の共有を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の行事や活動をSNS等を使い発信している	SNSの更新頻度を上げていき、より事業所としての取り組みや、子どもたちの頑張りを発信していくことができるよう取り組んでまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		取り扱いには十分留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域に向けての行事の開催はできていなかった。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		法人全体でマニュアルを策定し、HP上で確認することができることをお伝えしている。また、年間計画の中で、定期的に訓練の実施、マニュアルの内容の確認について行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法人として年間を立て、計画的に訓練、研修を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時やモニタリングの際に確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食品を提供する際には、都度保護者様へ連絡を取り確認を取っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画についての研修を行い、職員の理解を深め、計画に基づいて安全点検等も定期的に行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に緊急連絡先の確認や、避難バッグの中にも利用児童の情報をまとめた一覧表を準備している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例が起きた際は、振り返りやミーティングにて共有する時間を設けている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修会を定期的に行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		対象児童はいないが、研修を行って事業所で周知を行っている。	